

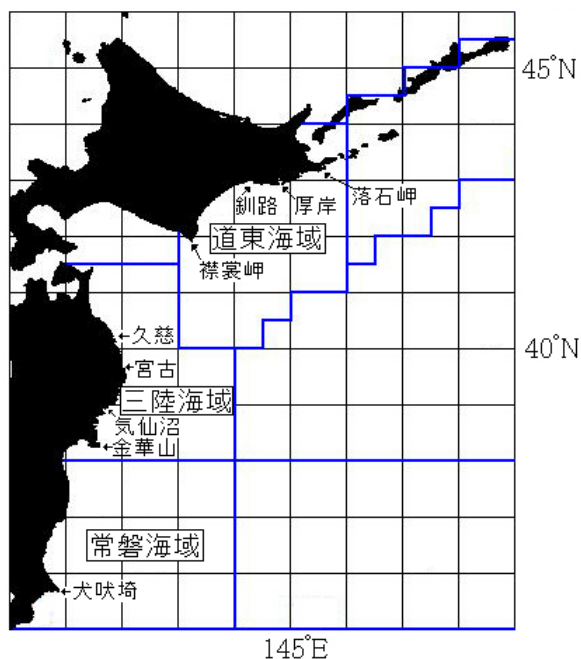
平成24年度 第7回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2012年11月中旬～12月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域は終漁。
- ・三陸海域では、11月中旬は中位水準であるが、来遊量は減少する。
- ・常磐海域では、来遊量は増加し、11月中旬は中位水準となる。12月上旬から来遊量は減少する。



海域の名称

問い合わせ先

社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

平成24年度 第7回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2012年11月中旬から12月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

来遊量は少なく、終漁となる。

(2) 漁場

漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

11月中旬は中位水準であるが、来遊量は減少し、11月下旬は低位水準となる。12月上旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場

11月中旬～12月上旬の主漁場は、三陸南部となる。

3) 常磐海域

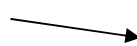

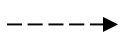

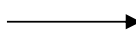
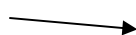

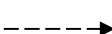
(1) 来遊量

来遊量は増加し、11月中旬～12月上旬は中位水準となる。12月上旬から来遊量は減少し、12月中旬は低位水準となる。

(2) 漁場

11月中旬～12月上旬は、常磐北部～南部に漁場が形成される。12月中旬～下旬は、常磐南部に漁場が残る。

2. 予測の概要

海 域		11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量					
	動向					
	漁 場					
三陸海域	来遊量					
	動向	中位減少	低位減少	断続的		
	漁 場	南部	南部	南部		
常磐海域	来遊量					
	動向	中位増加	中位水準	中位減少	低位減少	断続的
	漁 場	北部～南部	北部～南部	北部～南部	南部	南部

3. 漁況の経過概要（10月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前旬を下回り、前年並の中位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は徐々に減少した。

(2) 漁場

主漁場は、厚岸～釧路沖と襟裳岬沖であった。

厚岸南～釧路南西沖の20～60海里付近（11～13℃）では、小型船が多数操業。22日夜までは大型船も5～10隻程度操業。大型船で5～60トン程度、平均25トン程度漁獲した。

襟裳岬東南東～南東沖の40～80海里付近（12～16℃）では、24日夜以降、大型船が数隻～10隻程度操業し、最高100トン以上、平均57トン程度漁獲した。

(3) 魚体

各漁場ともに体長26～27cmモードの中型魚主体であるが、30cmモードの大型魚が多く混じる群と、24cmモードの小型魚が多く混じる群がある。大型魚の体重は、130～140g台主体。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

資源量指数から判断した三陸海域における来遊量の水準は、前旬および前年を上回り、中位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は期半ばにかけて増加し、その後やや減少したものの、再び増加した。

(2) 漁場

主漁場は、久慈～大船渡沖であった。

久慈東20～50海里～大船渡東20～70海里付近（16～19℃）では、21日夜以降、大型船が数隻～50隻程度操業した。また期後半には、小型船も操業した。漁場の南端は、21日夜に久慈沖、23日夜に釜石沖、26日夜に大船渡沖に達した。大型船で最高100トン以上、平均44トン程度漁獲した。

(3) 魚体

各漁場ともに体長30～31cmモードの大型魚と26～27cmモードの中型魚主体で、小型魚が混じる。大型魚の体重は、130～140g台主体。

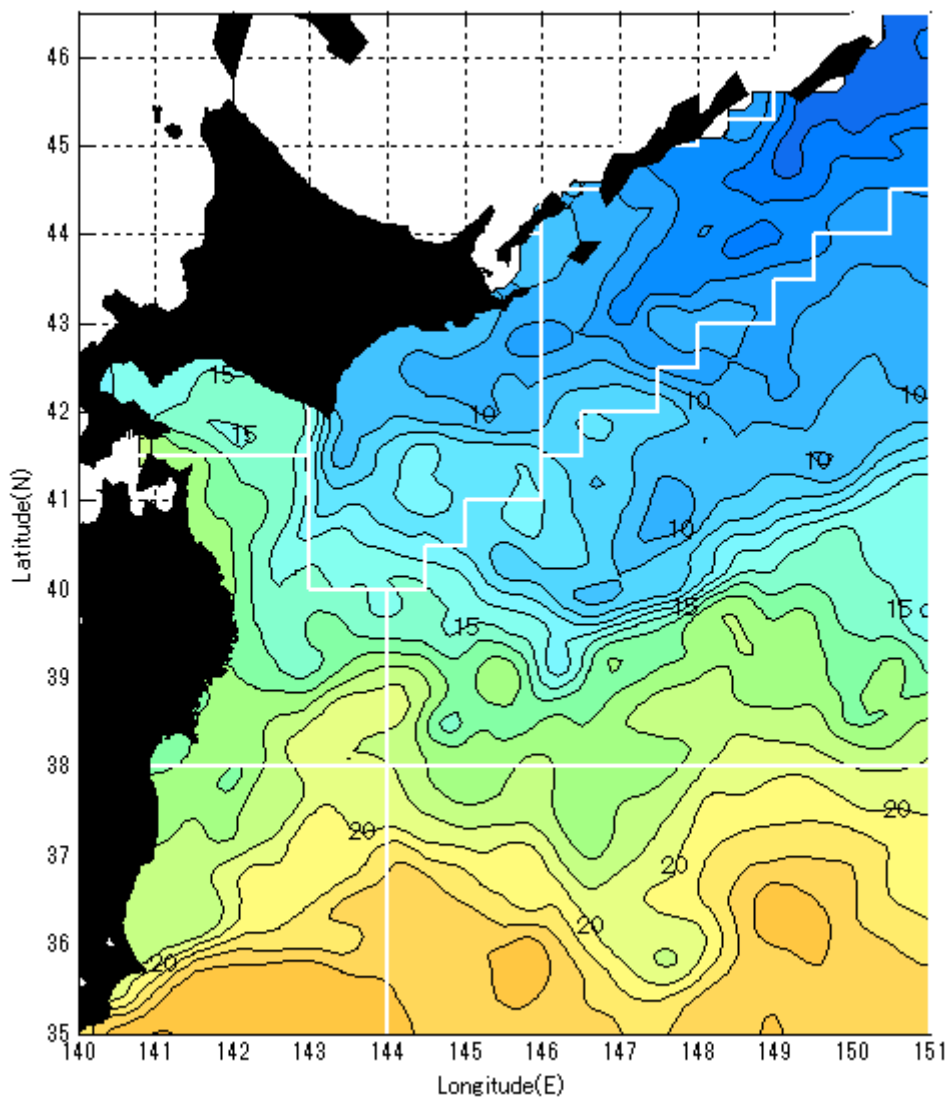
3) 常磐海域

(1) 来遊量

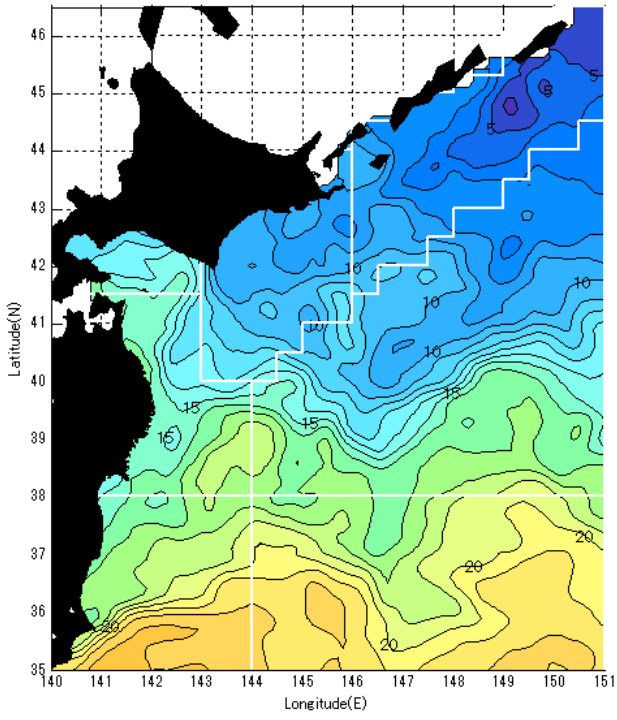
常磐海域では、漁場は形成されなかった。

4. 予測水温分布図

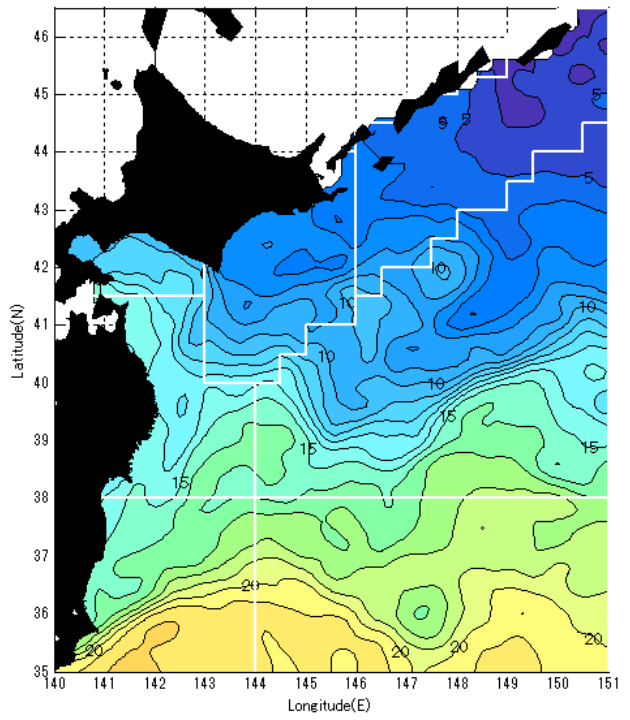
11月中旬予測表面水温分布図



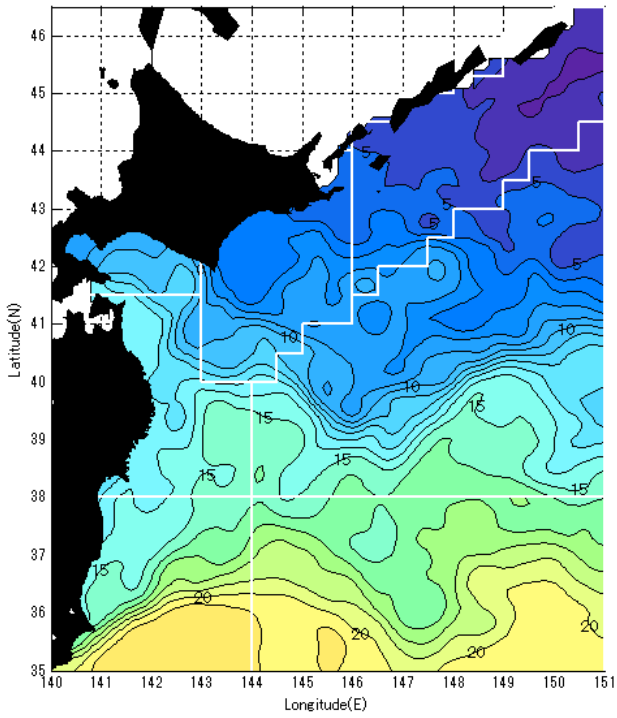
11月下旬予測表面水温分布図



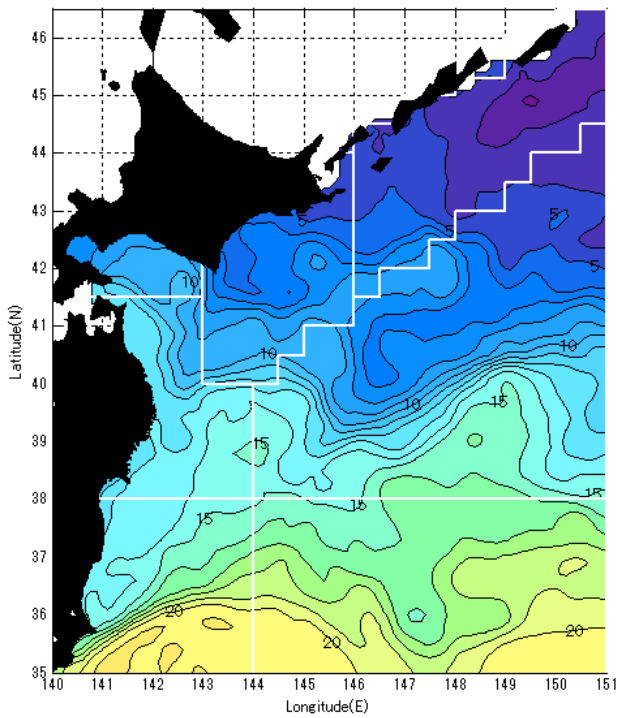
12月上旬予測表面水温分布図



12月中旬予測表面水温分布図



12月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)</p> <p>社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
---	--